



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年12月15日(木)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

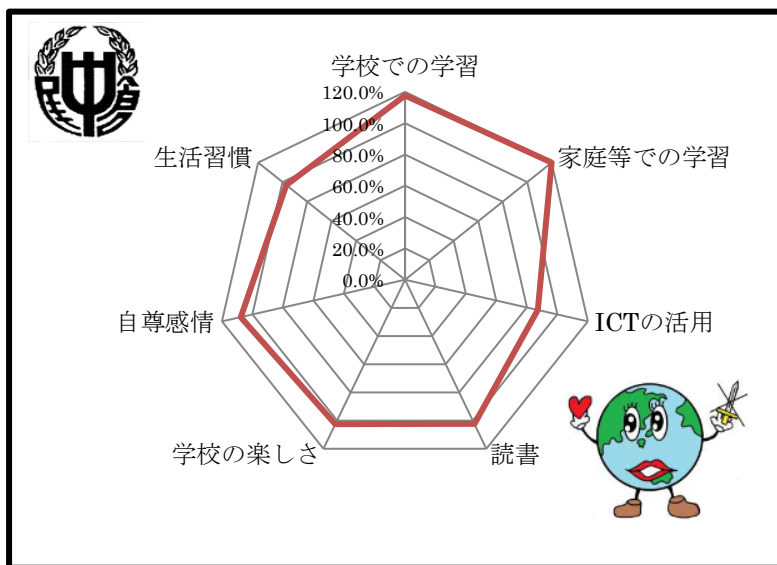
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	全ての項目において、福岡県及び全国の平均点を上回る。	上回っている
数学	全体的に全国平均を上回っているが、「関数」領域のみ全国平均正答率を下回っている。	上回っている
理科	全体的に全国平均を上回っているが、「地球」を柱とする領域のみ全国正答率を下回っている。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」の質問に対する肯定的な回答が全国平均を大きく下回った。それに対し、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の質問に対しては92%が肯定的な回答をしている。生徒自身はICT機器を利用した授業や補充学習に期待しているのに対し、教師側がその要求にこたえていない現状があるといえる。今後のICT機器を利用した授業改善や補充学習の充実が必要であると考えます。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

ICT機器を有効的に活用した授業の計画実行が必要である。また、尾倉中学校「思考ツール」を活用した、「考えをまとめ発信する力」の育成にも取り組んでいきたい。

② 家庭生活習慣等に関する取組

「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」の質問に対し、1時間未満と答えた生徒が15%にとどまり、全国平均を大きく下回った。学校でもスマホ等の使用に関し注意啓発を行っているが、各ご家庭でもスマホ等の適切な使用方法を家族で話してほしいと考える。

令和4年度全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- (2) 生徒質問紙調査
 - 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

本資料は令和4年4月19日に3年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」の結果に基づきまとめたものです。内容については尾倉中の3年生の結果ですが、1・2年生の生徒にも共通している内容が多いのではないのでしょうか。

学習(勉強)というものは、結果が出ないと子どもは迷うものです。しかし、スポーツや習い事と同じように、結果が伴うと勉強に対する考えは大きく変わります。これから求められている学力、つまり、「主体的な学び」のために必要なことは、子どもが頑張る努力を続けている間、しっかり見守ることだと思います。そして、学校でも家庭でも、頑張った結果が出たときに、すぐに褒めてやることだと思います。

学力や体力が大切なこと・・・それは、大人になって、人間関係を築くための基盤になることではないのでしょうか。将来、子どもたちが大きくなったとき、地域や社会の中で、のびのびと育ってくれるように、全国学力・学習状況調査の分析結果をご一読いただき、成果と課題を私たち尾倉中教職員と共有していただければと考えております。

そして、お子様の学びについてこれからも一緒に考えていければと思います。今後ともよろしく願います。